修学旅行新聞

3年 2組 22番
杉戸 [redacted]

奈良市観光協会
マスコットキャラクター

しかまろくん

メンバー
◎杉戸
・神谷
・加藤
・松本
[redacted]

○栃木
・野口
・福田
・小堀
[redacted]

テーマ
みんなで歴史の国にタイムスリップ!

スケジュール
伏見稲荷
⇓
養源院
⇓
京都タワー
⇓
北野天満宮
⇓
お昼
⇓
龍安寺
⇓
金閣寺
⇓
銀閣寺
⇓
哲学の道

金閣・鹿苑寺

お釈様の舎利（お骨）をまつった舎利殿「金閣」が特に知られ金閣寺と言われていますが正しくは「鹿苑寺」といいます。臨済宗相国寺派の禅寺です。この土地には鎌倉時代に西園寺公経の別荘「北山第」が在りましたが、足利三代将軍義満が気に入り応永4年（1397年）に西園寺家から譲り受け、山荘「北山殿」を造りました。金閣を中心とした庭園・建築は極楽浄土をこの世に現したと言われ、後小松天皇（一休禅師の父）をお招きしたりしました。室町幕府は中国（明）との交易を盛んに行い北山文化の中心地として発展しました。義満没後、遺言により夢窓国師を開山（初代の住職）とし義満の法号鹿苑院殿から二字をとり鹿苑寺と名づけられました。1994年には世界文化遺産に登録されました。

銀閣寺

鹿苑寺の舎利殿（金閣）、西芳寺の瑠璃殿を踏襲し、本来、観音殿とよばれた。二層からなり、一層の八空殿は書院風。二層の潮音閣は板壁に花窓をしつらえて、桟唐戸を設けた唐様仏殿の様式。閣上にある青銅の鳳凰は東面し、観音菩薩を祀る金閣を絶えず守り続けている。銀閣寺は臨済宗相国寺派に属するで禅寺で建立は文明14年（1482）。室町幕府八代将軍足利義政公による。義政公は、祖父にあたる三代将軍足利義満公の北山殿金閣（鹿苑寺）にならい、隠栖生活を過ごすため、山荘東山殿を造営。この東山慈照寺。義政公の法号慈照院にちなみ、後にこう命名された。東山殿は義政公を中心に形成された東山文化の発祥地であり日本人の近世的生活文化の発端をなしている。今もなお銀閣寺には東山文化と禅宗文化の結合をみることができる

感想

今回、修学旅行を通して数多くの事を学びました。でも学ぶ事よりも楽しい事の方が大きくなってしまいはしゃぎすぎることが多々ありました。教科書で見た写真より実物の方がはくりょくがありました。特に金閣寺では少しはなれた所から見たのに光が反射してキラキラと光輝いていました。でも、それ以上にクラス・班のメンバーと楽しめたのが一番よかったです。2日目の班行動ではみんな仲良くすごすことができました。何よりみんなトラブルや事件事故にまきこまれず無事に帰ってこられたのがよかったです。今では、また行きたいと思うくらい楽しい時間をすごせました。本当に充実した時間をすごすことができました。また機会があったら同じメンバーで行きたいと思いました。

龍安寺

徳大寺家の別荘だったのを、宝徳2年（1450）管領細川勝元が譲り受けて寺地とし、妙心寺の義天玄承を開山として創建されたものである。応仁の乱に焼失して、明応8年（1499）、勝元の子政元が再興したが寛政9年（1797）火災で方丈・仏殿・開山堂なども失った。現在の方丈は、その時西源院の方丈を移築したものである。方丈の前庭は枯山水の石庭として著名で、臨済宗妙心寺派に属し、大雲山と号し禅苑の名刹である。世界文化遺産登録。